

ISE バージョン 1.1.x モニタリング ノードのバックアップを別のノードに復元する

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[モニタリング ノードのバックアップの作成](#)

概要

このドキュメントでは、モニタリング ノードのバックアップをバックアップ元のサーバとは異なるサーバに復元する方法を説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Identity Services Engine (ISE) バージョン 1.1.x に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

モニタリング ノードのバックアップの作成

1. CLI または管理 GUI を使用して、現在のモニタリング ノードのバックアップを生成します。
2. ターゲット モニタリング ノードで、オン デマンド完全バックアップを生成します。
3. バックアップの保存先リポジトリで、以下のファイルがあることを確認します。

- Mntdbfull_hostname_date_time.tar.gpg
 - ise_catalog.xml
4. 現在のノードからのバックアップを、ise_catalog.xml ファイルがホストされているリポジトリにコピーします。
 5. 新しいノードに復元するバックアップ ファイルを参照するように ise_catalog.xml ファイルを編集します。以下の例では、ProductionMNT.gpg という名前のバックアップを復元します。

```
From:  
<void property="fullImage">  
<string>mntdbfull_ise-rec5_20130627_110059</string>
```

```
To:  
<void property="fullImage">  
<string>ProductionMNT</string>
```

6. 管理 GUI で、[Administration] > [System] > [Maintenance] > [Data Management] > [Monitoring Node] > [Data Restore] に移動します。前のバックアップに ProductionMNT.gpg ファイルが含まれていることを確認します。
7. 復元するバックアップを選択し、バックアップの作成時に使用した暗号キーを入力してから [Restore] をクリックします。
8. 復元が完了するまで待ちます。復元中は、GUI の別の場所に移動したり、変更を加えたりしないでください。このプロセスが完了するまでには時間がかかる場合があります。復元が完了すると、ノード上の ISE サービスが再起動します。